

特集：心身症治療最前線—近畿大学医学部心療内科

## 心療内科における心理士の役割

市谷 のり恵 (ICHITANI, Norie)  
林 真理子 (HAYASHI, Mariko)  
白崎 愛里 (SHIRASAKI, Airi)  
小山 敦子 (KOYAMA, Atsuko)

近畿大学医学部附属病院心療内科

Keyword：心理士 心理療法 心理検査

### はじめに

2013年8月、近畿大学医学部内科学腫瘍内科部門心療内科分野に非常勤心理士1名が配属され、2014年4月より新たに常勤心理士2名が配属された。2013年8月から2014年9月までの活動とともに、心療内科における心理士の役割を紹介する。

### 活動内容

#### 1. スタッフについて

常勤2人、非常勤1人の3人体制であり、臨床心理士資格を有しているものが2人、臨床心理専門職大学院卒後研修生が1人である。

#### 2. 心理検査

医師からの依頼により、外来・入院患者への心理検査を実施している。

主な検査としては、知能検査 (WAIS-Ⅲ、WISC-Ⅲ)、人格検査 (ロールシャッハ・テスト、ソンディテスト、P-Fスタディ、SCT、描画テスト各種)、認知機能検査 (HDS-R、ADAS、FAB、RBMT、WMS-R) が挙げられる。また、成人だけでなく、発達障害を含めた子どもの心理検査も実施している。

現在、検査枠の拡大や、診察室確保を検討中であり、今後は、他科からの検査依頼や研究協力にも取り組む予定である。

### 3. 心理療法

多方面からの援助が必要と思われる患者に対しては、心療内科カンファレンスにおいて検討したうえで、外来患者を中心にカウンセリングを提供している。カウンセリングは、主に診察室を使用し、1回50分、毎週または隔週で実施することが多く、環境は比較的構造化されている。子どもから高齢者まで幅広い年齢層を対象としており、その中には緩和ケア科患者も含まれる。

入院患者に対しては、面談室やベッドサイドでのカウンセリングによる「こころ」のケアおよび、リラクゼーションや自律訓練法などの「からだ」のケアも重視している。

### 4. 緩和ケアチーム

現在、常勤1人が緩和ケアチームにて研修中である。Sasaharaら(2009)の基準によると、緩和ケアチームの活動は、「主として症状緩和、精神的支援、意思決定の支援、療養場所の調整、家族への支援、終末期の諸問題への対応、医療従事者への支援」<sup>1)</sup>であり、患者や家族のQOLの維持向上を目的として、多様な職種が協働できる体制が求められている。臨床心理士の役割としては、アセスメント、カウンセリング、コンサルテーション、スタッフケアなどが考えられ、今後取り組んでいく予定である。

### おわりに

心身症とは、「身体疾患の中で、その発症や経過に心理社会的因子が密接に関与し、器質的ないし機能的障害を認められる病態をいう」<sup>2)</sup>。そのため、「こころ」と「からだ」双方に耳を傾け、患者本位の、患者のより良い生を共に歩む支援を提供していくことが心療内科心理士の役割であると考えられる。医師と心理士がそれぞれの立場から見立てを共有し、意思疎通を図って、より患者に役立てられる体制を整えていく所存である。

### 文 献

- 1) Sasahara T, Kizawa Y, Morita T, et al: Development of a standard for hospital-based palliative care consultation teams using a modified Delphi method. J Pain Symptom Manage 38: 496-504, 2009
- 2) 日本心身医学会教育研修委員会(1991): 心身医学の新しい診療指針 心身医学 31(7): 537-573